

(浅科中学校だより【校長室より】)

志高錬成

志を高もち、よりよい成果を得るために、ねばり強く、自分を鍛える

令和2年度

第6号

R2. 9. 29

佐久市立浅科中学校

【コロナ禍だからこそできることを】

テーマ「新風～動こう 繋がろう ひとりひとりの 新しい清流祭～」のもと、8月末のプレ活動①を皮切りにスタートした第52回清流祭は、その後のプレ活動②③、先日のステージ発表を中心としたメインの日で前半を終えることとなりました。保護者の皆様には、これまでの準備や生徒の活動に対しましてご理解やご協力を賜り誠にありがとうございました。また、ご支援をいただいたコミュニティースクール学校運営委員の皆様には心より感謝申し上げます。

「コロナ禍だからこそできることを」と、生徒たちはアイデアを出し合い、一生懸命にテーマを表現した、正に新しい風を吹かせた今年の清流祭でした。プレ活動では委員会対抗やクラス対抗、AB縦割りクラス対抗など新しい企画が仕組みられ、クラスや学年の枠を越え、生徒たちの笑顔や歓声が校内や校庭に広がりました。ステージ発表



では、2・3年生の総合からは海原の風を感じさせるステージバック(上写真)やポスターの力作、魂が震えた中山道宿場太鼓、美しいハーモニーが響いた音楽発表がありました。意見文発表はどの発表も生徒の思いが素直に語られており、自分たちの生活や社会を振り返る機会を与えてくれました。また、英語スピーチでは English day や日々の学習の成果を見事に表現しており天晴れ!でした。新企画の生徒会発表は生徒たちのアイデアに感心させられ、みんなの発表では素晴らしいエネルギーを感じることができました。最後を飾った吹奏楽部の発表では、3年生の熱い思いと後輩に託す思いがサウンドを通じて表現され、部の一体感を見事に表現してくれました。いずれの発表も生徒たちは物事を柔軟に捉え、生き生きと中学生らしさを発揮し、発表後には温かな拍手が浅科中学校を包み込んでいました。

第52回清流祭を創りあげた過程でいろいろなことがあったと思います。しかしながら、生徒たちは時には自分とは違う考え方や価値観も受け入れ、清流祭という素晴らしい作品を全校で創りあげました。そのパワーに驚き、感動しました。

今回の清流祭は役員の企画・運営を土台として多くの生徒の頑張りや勇気が全校を繋げ、新しい風を吹かせたとも言えます。是非、この経験をこれからの学校生活にいかしてほしいと期待しております。

尚、清流祭の後半は、ミュージック・フェスティバルを10月27日(火)、作品展示を保護者懇談会中(12月9～15日)に開催いたします。ご来校いただき生徒たちの活動の成果を参観いただきたいと思っております。

清流祭の活動の様子から

プレ活動②(宝探し)



プレ活動③(障害物リレー)



意見文発表



英語スピーチ



生徒会発表(美化委員会)



みんなの発表(3Bダンス)



中山道宿場太鼓(3年総合)



音楽(3年総合)



吹奏楽部発表

【PTA共同作業ありがとうございました】

6日に施設厚生部事業としてPTA共同作業が実施され、早朝より大勢の1学年の保護者・生徒に参加していただきました。今年度は春の作業が中止となったためA・B両クラスでの活動となりましたが、天候の不順の中にもかかわらず清流祭に向けて精力的に取り組んでいただきました。ありがとうございました。今後も校舎内外の環境を整えながら教育活動を進めてまいります。



はじめの会

【後期の部活動へ向けて】

25日に部活動運営委員会が開催されました。今回は3年生の引退により各部の保護者会も新体制になったことを受けて、今後の部活動の運営について確認を行いました。現在、運動部は10月からの中体連新人戦、吹奏楽部は1月のアンサンブルコンテストへ向けて、2年生を中心に練習に励んでおります。今後とも各活動へのご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。



保護者会長・顧問での打ち合わせ